

市民とともに取り組む「シカの食害防止対策」 — 人と自然の共生のための研究フォーラム開催 —

10月26日（日）大阪府箕面市の市民活動センターで、NPO法人みのお山麓保全委員会などが主催して、人と自然の共生のための研究フォーラム「箕面の身近な自然を大切にしよう！」が、多くの箕面市民が参加して開催され、箕面森林ふれあい推進センターが市民とともに取り組んでいる「シカの食害」防止の活動などが報告されました。

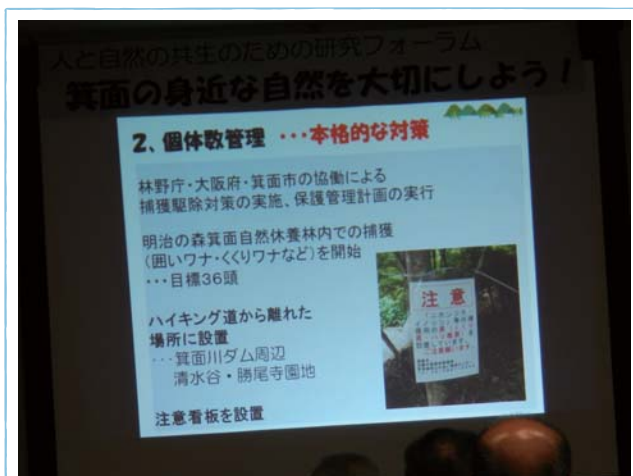
このフォーラムは、「箕面の自然やそこに暮らす生きものの特徴、箕面の文化や祭り、自然の恵みと人のくらしとのつながりなどを知るとともに、昔と今の自然と人のくらしの変化にも視点を向けて、地域全体への理解を深める。山間・山麓部の活動から始めて、将来は、まちのみどりや河川での活動を行う人に生物多様性が大切なわけを知ってもらい、人々のくらしにもつなげていく。」をテーマに開催されました。

フォーラムでは、市民団体や自治体、



箕面森林ふれあい推進センターが参加する「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」から、生態系の保全・再生の中で、最も大きな課題となっている「シカの食害」防止に関する活動の報告がされました。報告内容は、①植生保護柵、及び樹木保護ネットの設置による「植生を守るための緊急避難的な対策」、②糞塊調査、柵取り（コドラート）調査、森林植生衰退状況調査、定点カメラ調査による「モニタリング調査」の管理目標としての活用、③自然休養林内での捕獲の実施による「頭数管理」、④市民への啓発・啓蒙の4つの視点で総合的に進めていくことです。

このフォーラムの開催を通じて、地域の方がシカによる森林等の食害について関心を持っておられることがわかりました。当ふれあい推進センターでは、引き続き市民とともに、この課題に取り組んでいきたいと考えています。



※写真はみのお山麓保全委員会HPより引用

箕面市民が森の風景づくり「水源の森ジオラマ」を体験！ —みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア—

10月26日（日）、箕面市かやの広場で「みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア」が3,200名あまりの市民が参加して開催され、箕面森林ふれあい推進センターは、日常生活とかかわりがある森林の役割や里山再生の取組に関する情報発信を行いました。

このフェアは、山とみどりの市民イベント実行委員会と箕面市が主催し、山麓保全・河川や公園の美化・自然保護に関わる市民団体やNPOの活動を紹介することを目的に開催されたものです。当センターは、箕面国有林で行っている里山再生を行いながら森林環境教育に活用していく「オオクワガタの棲める森づくり」の整備経過や体験学習の様子を紹介したパネル展示、森の風景を参加者が楽しく作成体験しながら、水源かん養などの森林が持つ機能を学ぶ「水源の森ジオラマづくり」を出展しました。

当センターのブースには親子連れのグループが多く立ち寄り、ジオラマづくりをした子ども達は楽しそうに小さな樹木を作ったり、保安林の看板を立てたり、最後にはペットボトルを利用したカバーをかぶせて、満足そうに眺めていました。「リアル



なジオラマづくりで大人の私が作りたかった」「自然の素材で、とても楽しいものを作らせていただき、こどももとても楽しかったようです」「去年に続き2回目でした。このジオラマづくり目当てに今日は来たような感じです」などの感想をいただきました。

身近に森林を感じてもらうために行っている「オオクワガタの棲める森づくり」の里山整備については、「すばらしい取組だと思います」「こういった取組が多く広がれば良いと思いました」「森づくりで協力できることがあれば参加したい」などの意見をいただき、この取組について知っていただける機会となりました。



箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

